

50回国民体育大会福島県競技力向上対策本部を設立して、事務局を教育庁保健体育課に設置し、総務企画部会、普及強化部会、企業スポーツ推進検討委員会を開催して、福島県競技力向上推進総合計画、福島県企業スポーツ連絡協議会の設立等の検討を進め、63年3月22日に第2回県競技力向上対策本部委員会において、「第50回国民体育大会福島県競技力向上推進総合計画」を策定した。

6 第50回国民体育大会開催準備の推進

昭和62年8月17日に第50回国民体育大会福島県準備委員会第4回常任委員会を開催し、第50回国民体育大会の総合開・閉会式場としてあづま総合運動公園を選定した。

また、昭和63年2月18日に第5回常任委員会を開催し、残る20競技の会場地として7市8町8村を選定し、スポーツ芸術を除いた40競技すべての競技会場地の選定を終了した。

これにより、競技会場地は10市16町10村となり、1～2月中に開催される冬季大会の開・閉会式は、スケート及びアイスホッケー競技会場地の郡山市及びスキー競技会場地の猪苗代町で行われるほか、9月に開催される夏季大会の開・閉会式は水泳競技会場地の郡山市で行われる。

また、観客を含めて約7万人の参加が予想される秋季大会の総合開・閉会式は、10月に福島市佐原のあづま総合運動公園で行われる。

次に第4回常任委員会において、国県準備委員会に施設・競技の専門的事項を審議する施設専門委員会及び競技専門委員会を設置し、第5回常任委員会において、競技役員等養成基本方針並びに競技役員等養成基本計画を決定した。

7 体育施設の整備

県民の体育・スポーツの振興を図るため、県営体育施設については、荻野漕艇場のダブルスカル3艘、舵手無しペア3艘を更新するなどの整備を図った。

市町村の体育施設については、国庫補助事業により、学校体育施設として、小・中学校プール13カ所、中学校柔剣道場2カ所、学校体育開放諸施設5カ所並びに社会体育施設として、体育館3カ所、運動場1カ所、野球場1カ所、照明施設9カ所、野外活動施設1カ所の整備が図られた。

第2節 保健体育関係表彰

体育・保健・安全・給食の各分野で、特に、功績のあった方々及び団体が、文部大臣・各関係団体等からそれぞれ表彰を受けた。

1 体育関係

(1) 文部大臣

① 体育功労者賞

氏名・住所	役職名
宇井正三 (白沢村)	白沢村剣友会会長 白沢村体育協会会長 白岩剣道スポーツ少年団代表指導者

② 社会体育優良団体賞

団体名	代表者・住所
小泉スポーツ少年団	渡辺一夫(郡山市)
塙町体育協会	小室勇(塙町)

(2) 財団法人福島県体育協会

① スポーツ功労賞

氏名	所属(住所)
渡辺健吉	県空手道連盟(郡山市)
高橋健三	県体操協会(郡山市)
峠正彌	県弓道連盟(福島市)
安斎泰見	県剣道連盟(二本松市)
花井馨	県バレーボール協会(郡山市)
宇賀神喜嗣	県卓球協会(郡山市)
鈴木善兵衛	陸上競技協会(福島市)
亀岡進一	県バスケットボール協会(いわき市)
高橋清	県柔道連盟(会津若松市)
大平忠七郎	いわきバスケットボール協会(いわき市)
弓田道雄	町体育協会(本郷町)
吉田健一郎	相双陸上競技協会(浪江町)
木村利三郎	県中弓道協会(郡山市)

② 優秀指導者賞

氏名	競技種目(住所)
甚野道雄	卓球(福島市)

③ 優秀選手賞(個人)

氏名	競技種目(所属)
星貴城	ホクシング(福島農蚕高校)
中澤謙	水泳(東海大学)
穂本哲也	陸上競技(福島大学)
高松秀行	“(平工業高校)
小野富美子	“(東京女子体育大学)
石井美津夫	自転車(日本大学)